

# 平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 和歌浦小学校
作成日	平成27年3月3日

## 1 教育目標

健康なからだ、確かな考えと、豊かな心をもち意欲的に活動する子どもを育てる。

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	毎月届くカラー刷りの学校だよりの地域回覧で学校の子どもの生活が、よく分かるのでとても良い。地域の各種団体は、学校への協力を望んでいるから必要な時は、声かけをしてほしい。	学校長の子どもたちによせる玄関前での毎朝の挨拶や登校指導。子どもたちの心に響いているはずだ。また、読書タイムの実践や図書分散で身近な場所に本があることは素晴らしいことだ。時間がかかるが、学力の充実に読書が1番だと思う。	数回の学校訪問で、よく分からない点もあるが、ほとんどの学級では、子どもたちは、楽しく学習できていた。中には、私語する子がいたが、あきらめずに指導の継続が必要ではなからうかと思った。
取組の状況に対する意見	子どもたちの地域の学習には、どの団体も協力を惜しまない。今年は、多くの学年が地域に働きかけてくれて良かった。学校からの発信を受けてPTAも地域も協力を惜しまない。この三者の信頼関係をより深くしていきたい。	学びの時間で基礎学力の定着も素晴らしいが、同様に読書にもこれまでのように力を注いでほしい。人との関わり合いの力を培うための挨拶運動をPTAともども力を入れていけばもっと定着すると思われる。その結果、子どもたちの人との関わり合う力がつけば、素晴らしいと思う。	今の子どもは、非常に指導しにくいと思う。親にも教師にもあまりおこられない。だから、おこられないから善悪の判断やルールを守る、人の迷惑になるという事等、あまり分かっていないのではないか。悪い時は、悪いと子どもに知らせる事は、大事だと考える。
検証結果に対する意見	今年も「子ども祭り」が、盛大に行われとても楽しかった。子どもたちのためにPTAのがんばり、また、地域の各種団体の参加も多く、がんばっているのは、とてもうれしい事だ。子どもたちもすごく楽しんでいた。	読みきかせのボランティアも定着していると聞き、大いに進めてほしいと思う。小さい間に色々な本を読んだり、聞いたりして、心を耕してほしい。子どもたちを支える大きな力になると思う。	読書で楽しみながら、読解力を養い、挨拶をきっかけとして他の人と関わり合う力を養い、学びの時間で基礎学力を培う。これらのことを継続してほしい。きっと学力へも影響していくものと思う。
改善方法に向けての意見	地域の各種団体は、学校(子どもたち)の役に立ちたいと願っている。老人クラブによる昔の遊びや公民館による紙飛行機やCDごま作りと遊び。民生委員さんによるゲーム等、みんな喜んで参加しているのだから上手に地域の力を活用してほしい。	読書活動の推進と定着化。そして、PTAとも協力し合っの挨拶運動。この二つを継続する事は、子どもたちの成長に大きな力になると思う。是非、継続してほしい。	読書タイムで読解力を養い、作文で書く力を培い、学びの時間で基礎学力を養ってほしい。今、学校が力を入れていることは、大切なことばかりだから、是非とも継続してほしいと思う。

## 3 其他のご意見

学校長が、毎朝の挨拶で子どもたちによびかけ、また、地域の人たちにも声かけをしてられる。「学校だよりに」子どもたちの様子や学校のことを発信している。大きな努力を黙々と実践されている姿に敬意を表します。また、若い先生方にもこれまで吸収されたことを伝えられている。素晴らしいリーダーシップを発揮されている。PTAも地域も何にでも協力しようと待ち構えている。だから、読みきかせのボランティアのようなボランティア要請を色々なことに協力を要請してほしい。